

# 凡事徹底

## 令和6年度 板橋区立板橋第二小学校 学校経営方針

令和6年 4月1日  
校長 小澤 裕行

### 1 学校経営の基本理念

学校は、子供たちの自立を支援するために、必要な技能や知識を学ばせ、集団の中で人間関係の基礎を身に付けさせることが求められています。このことは、単に学習内容を身に付けさせるだけでなく、将来の社会を築く人材の育成を図っていることにつながります。

子供たちは、6歳から12歳までの6年間もの時間を学校で生活します。1日24時間、そのうち睡眠時間や食事の時間などを除いた半分近くの時間を過ごします。子供たちにとって学校はとても大きな存在です。6年間は子供たちの成長に大きな影響を与える時間でもあります。このことを教職員一人一人が強く意識しなければなりません。

そのために、教職員は、保護者、地域、社会の協力を得ながら「確かな学力」「道徳心」「体力」などを身に付けさせ、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に努める必要があります。特に確かな学力の獲得に繋がる「読み解く力の育成」については、板橋区教育委員会の重点施策であり、本校は他校をリードすべく令和2年度から区の研究校として取り組んでいます。

そして、本校の教育目標にある「自分でする子ども」「思いやりのある子ども」「じょうぶな子ども」こそが「生きる力」そのものだと思えます。また板橋区立小学校として、「板橋区教育ビジョン2025」の実現こそが、人づくりにもつながります。

教育目標や、板橋区教育ビジョン2025の実現を具現化することは、板橋第二小学校教職員一人一人に課せられた責任であるとともに、板橋第二小学校という組織全体に課せられた課題でもあります。一人一人の力では困難なことも組織としてならば解決できる、組織として力を結集した大きな力で解決していくことが重要だと考えます。全教職員が共通理解だけでなく、共通指導・共通行動をとっていく必要があると考えます。

更に、本年度本校は、100周年を迎えます。長い間、地域にあり、地域に支えられ、地域とともに歩んできた本校にとって100周年は大きな節目であります。郷土愛、愛校心を養うには、絶好の機会でもあります。

いずれにしても、心掛けることは、「凡事徹底」です。一人一人がやるべきことを一つ一つしっかりやることに尽きます。

- ① 子供の耳に傾け、子供と良好な人間関係を築ける 児童理解の優れた教師
- ② 保護者や地域の方々と積極的にコミュニケーションを図り、疑問や相談には真摯に耳を傾け、初期対応を特に誠実に行う教師
- ④ 善悪をきちんと指導するとともに、正しくない行いに対しては、毅然とした態度で 責任をもって、徹底した指導を行う教師
- ⑤ 課題に対して、様々な手だてを考え、実行できる教師
- ⑥ 授業力向上を達成するために、自らの資質向上を目指し、自分に厳しい教師
- ⑦ 一人一人の児童の良さを認め、持ち味を伸ばし育てる教師
- ⑧ 自己の職責を自覚し、きちんと果たすことができる教師
- ⑨ 自分の学級や担当のことだけでなく、他の教職員と協働し、組織の一員として行動できる教師

#### 4 板二小が目指す児童像

(学びのエリアで目指す児童像)

#### 「自律」と「自立」

- 自ら考え、挑戦し続ける子
- 自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子
- 心と体を大切にし、困難にも立ち向かえる子

#### 学びのエリアでの具体的な取組

- ①「読み解く力」育成に関わる基礎的読解力に基づいた授業等による学力の定着・向上
- ②一人一台の端末を用いた個別最適な学びの充実と、主体的に学習する力の育成
- ③SDGsを意識した地域・街との関わりのある総合的な学習の時間の取組の推進
- ④児童・生徒の交流活動の充実
- ⑤特別な教科 道徳の共通重点指導（「善悪の判断、自律、自由と責任」）の実施
- ⑥コミュニティ・スクール委員会の活性化
- ⑦学校生活等をよりよく改善するための学級活動で育む主体的に取り組む力の育成

#### 5 学校の教育目標

- 自分でする子ども【自立】【創造】  
自分で学ぶ意欲と強い意志をもち、主体的に実践する児童を育成する。
- 思いやりのある子ども【貢献】【共生】  
豊かな心をもち、自他の人格を尊重し、人との関わりを大切にする児童を育成する。
- じょうぶな子ども  
健やかな心と体をもち、心身共に健全な生活を目指す児童を育成する。



- ・ 探求的な学習の推進（総合的な学習の時間）※学びのエリア重点  
3～6年担任
- ・ 学級や学校における生活づくりへの参画（学級活動）※学びのエリア重点  
特活主任
- ・ 第二図書室の活用

- 児・13 授業中、自分の考えを書いたり、発表したりしているか  
 児・ 学級会では学級や学校をよくするための意見を考え言えたか  
 保・ 1 学習内容がわかりやすく、楽しい授業をしていますか。  
 保・ 16 学校は、タブレットパソコンを十分活用し、一人一人の子供  
 たちが意欲的に学習に取り組むような工夫をしているか。

- ③ SDG's の項目や ESD の視点を踏まえた環境教育の推進 環境委員長  
 ・ 環境教育年間計画の確かな実践  
 ・ 総合的な学習の時間における「環境」に関する事項の系統性  
 ・ ビオトープの活用  
 ・ 栽培活動の充実  
 ・ 3R 活動の推進  
 ・ 児童のビオトープ管理（児童会 環境委員会 地域人材・人財【外部の力】）  
 ・ 環境教育推進委員会の充実（ユネスコスクール校として）  
 ・ 各教科、総合的な学習の時間、学活、行事における取組  
 （自然発見カード、1年間の環境教育の取組揭示等）

## 本校の特色・最重点項目

- 保・ 5 環境教育の充実を図っているか。

- ④ 家庭学習の習慣化 研究主任  
 ・ 宿題指導の工夫改善（ドリルの学習は、できる限りタブレットパソコンを用いる。  
 ・ 読み解く力に関連する課題を継続的に取り組ませる。  
 （スタディアップタイムでの「読み解く力」の育成に係わる問題への取り組み）  
 ・ 自主学習の取組推進（4年生以上の自主学習ノートを使っている取組）

- 児・ 6 家で毎日学習していますか。

- (2) 思いやりのある子ども……徳【貢献】【共生】

### 生活主幹 道徳主任

### 共通行動・共通指導

- ①挨拶・返事・清掃活動の重視。  
 ・ 挨拶は「自分から 気持ちをこめ 誰にでも 欠かさず」  
 相手の目を見て 聞こえる声で  
 ・ 返事は「欠かさず、聞こえる音量で 誰にでも」  
 ・ 清掃活動は静かに 隅々まで 心を「こめて」 迅速に

(3) じょうぶな子ども……体

体育健康委員会を中心に板橋第二小体力向上推進計画に基づき取り組み。

① 教科体育の充実 体育専科 体育主任 体育副主任

・運動の質と量の向上（教師が各運動の特性をしっかりと理解して指導。意図的計画的な体育の授業実践）

・体力調査を踏まえた運動内容の工夫。

## ②運動の日常化 全教員

・休み時間の確保と戸外遊びの奨励。

・全校持久走月間や校内持久走発表会の実施

・全校縄跳び月間の設定、体育朝会での全校縄跳びの実施

児・3 自分の体力作りに取り組んでいますか。

保・6 児童の健康体力の増進を図っているか。

③健康教育の推進 栄養士 養護教諭 体育主任副主任 体育専科

・食育の取組

・「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

児・1 2 給食は残さず食べていますか。

(4) どの子も充実感、帰属感が味わえる学校づくり

①特別支援教育の充実

特別支援教育コーディネーター 特別支援教育専門員 STEP UP 教員

・特別支援教室の充実、

・校内特別支援委員会の充実や推進

(入退級判定準備、行動観察のみで終わるのではなく、発達障害のある児

童への指導法などを巡回指導教員と特別支援教育コーディネーターが

中心となって提案)

② 夢や目標や意欲をもたせる指導・支援

・キャリア教育の推進 キャリアパスポートの活用 生活主幹 道德主任

③ 達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定

児・2 学校に行くのは楽しいですか。

保・1 3 児童は楽しく学校生活を送っているか。

保・1 2 児童の努力を認めたり励ましたりして温かく接しているか。

(5) 学ぶ環境の整った、美しい学校づくり

①清掃の行き届いた清潔な環境の整備

②整理・整頓された教材・教具

・普通教室だけでなく、特別教室、専科教室、準備室も常にきれいに。

③靴のかかとがそろった昇降口、傘がきちんと入れている昇降口

④児童に働きかける教室環境や掲示物の工夫⇒校内掲示計画に沿って

⑤教室内の統一された掲示物と掲示場所

保・1 9 学校内は、清潔に保たれ、校内掲示など工夫してあり

良好な教育環境が保たれていますか。

居場所づくり



・ICSによる学校運営への参画

保・15 保護者や地域の人々が積極的に教育活動に関われるようにしているか。

保・16 保護者からの連絡や相談に真摯に取り組み、対応しているか。

保・17 各種たよりやホームページなどを通して、学校や子供の様子をわかりやすく伝えているか。

保・18 保護者や地域と共に子供たちを育てていく姿勢があるか。

保・20 保護者は学校の教育活動に積極的に関わっているか。

(8) 教職員としての資質向上

① 一人一人を大切にしたい愛情あふれる指導・支援

・児童理解、保護者理解、迅速丁寧な支援相談

② 教職員研修による授業力の向上

・読み解く力の育成を目指した校内研究

「読み解く力」を支える基礎的読解力の6つの分類を意識した教科書を用い、教科書で学ばせる研究授業

(教科書を用いて授業を行う教員は、最低1回は公開授業実施) + 自己申告観察授業時(通常級教員全員)には必ず上記の6つの視点を入れて実施。週案にも6つの視点を記載。

・悉皆研修、自主研修の活用

③ 板橋(地区)授業スタンダードの確実な実践

④ 職層や立場・役割を自覚した行動

⑤ 各自の能力開発

・自己申告の教職員が身に付けるべき4つの力(「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」)の活用

⑥ 新学習指導要領に伴う 外国語活動・英語、プログラミング教育に関する校内研修 GIGA スクール構想に関する校内研修 特別支援教育に関する研修。

タブレット端末の有効活用は、区の重点施策。各自で授業、家庭学習等の有効活用等を検討・実践する。5年算数、6年理科におけるプログラミングは、絶対!!

(9) 相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上

① 教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化

② 支え合う協働的な関係の構築

支え合う前提として、一人一人が自身の職責を果たした上で、忘れない

③ 報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的な対応

自分なりの考えや方策をもったの相談。

研修は、随時、必要な時、即実施。実践重視で。研修はしてもらうのではなく、みんなで学び合う。

報告なのか連絡なのか相談なのかをはっきりさせる

## 10 その他

### ① 柔軟な対応をする。

・一度決めても、状況や変えた方が良くと判断した時には、状況に応じて年度途中で変えていく。

### ② 前例踏襲 (いいんじゃないか このままで)

思考停止 (なにおかしいんだ。いまのままでもいいんじゃない。何も考えずにいつものようにこなしていく)

固定観念 (決まっていること、例年それでやっている。いまのままでもいい自己制止 (これ以上無理だ。自分は他にもやっている自分には今のままでもいい。) 4つの項目のリミッターを外す。

### ③ 学級担任は、1年間、児童が学校に来るのがいやになるような子を作り出さない。また児童や保護者からの、大きな苦情の原因を作らない。

### ④ 専科教員は、学級担任の力をかりずに学習規律を身に付けさせ、担任の授業より専科の授業が楽しいと思わせる。

考えやアイデアは大胆に 固定観念にとらわれず！発想豊かに！！

児童の指導や保護者対応は、差を付け、先手先手、細やかに、丁寧に、綿密に！

本校は小規模校、朝登校時、休み間等 全員で指導に当たるときは指導に互いに助け合い 教職員みんなで

チーム学校という言葉聞くが、その前提として個人がその職責を果たした上で存在する言葉であることを認識する。

教諭より 主任教諭に

主任教諭より 主幹教諭に力があるはず。

最後に 再度

教師の「凡事徹底」